

お寄せいただいた活動資金の使い道

日本赤十字社では「苦しんでいる人を救いたい」、「いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守る」ことを果たすための事業を行っています。災害が発生すればいつでも駆けつけられるよう日頃から備えています。これらの活動はすべてみなさまからのあたたかいご支援により実施しております。

国内災害救護



災害時の備えとして救護資機材の整備、救援物資の備蓄、救護班の訓練・研修を実施しています。

常時配備している
医療救護班の数

大阪赤十字病院 15班
高槻赤十字病院 5班

20 班

救護班等の派遣
(令和6年能登半島地震)

日赤災害医療コーディネーターチーム 4チーム
救護班 12班
こころのケア班 2班

18 班

国際活動



紛争地の医療技術を高める支援、復興支援や被災地の防災力を高める支援などをおこないました。

海外への派遣人数

- 独立行政法人国際協力機構 (JICA) 「シエラレオネ中央子ども病院」サービス向上プロジェクト
- パレスチナ赤新月社医療支援事業
- ウクライナ人道危機救援事業
- 国際赤十字・赤新月社連盟ジュネーブ事務局 (ロジスティクス部門) 延べ 10 人

10 人

開発協力事業の実施

- インドネシア・コミュニティ防災事業

赤十字ボランティア



赤十字ボランティア・奉仕団は、地域に根付いた活動や特定のスキルを活かした活動を展開しています。例えば、防災ボランティアは身近なものを使った応急手当を普及する活動に取り組んでいます。

奉仕回数 **87 団** **428,258 人**

青少年赤十字



学校における青少年赤十字活動の推進、青少年赤十字指導者・メンバーの育成などをおこなっています。

青少年赤十字加盟校数 **397** 校園所

救急法等の講習



急な病気やけがの手当て、事故防止、また地域における防災・減災に役立つ知識や技術を皆さまにお伝えするため、様々な講習を展開しています。

講習会及びセミナー実施回数 **415** 回 受講者数 **15,154** 人

医療事業



大阪赤十字病院・高槻赤十字病院では、地域に根ざした医療の提供に加え、国内外の災害時に医師や看護師等を派遣しています。

令和5年度 活動資金の活用実績

				(万円)	
国内災害救護	8,298	看護師の養成	240	全国的な赤十字活動への拠出	14,674
国際活動	100	地域における赤十字活動	10,603	翌年度への繰越	3,090
赤十字ボランティア	2,368	活動資金の募集・広報活動	12,172	合計	166,446
青少年赤十字	753	将来に備えての積立	17,252		
救急法等の講習	2,891	組織運営費	12,357		
医療事業・血液事業・社会福祉	76,915	社屋の修繕費・維持管理費	4,733		

※当初の見込を大きく上回る活動資金収入により、災害救護活動のための積立を行いました。